

Claude Code の入れ方 ③エディタ Cursor (Windows)

Cursor (カーソル) は、VS Code をもとに作られたエディタです。Cursor のアカウント (無料で作れます) でログインしてから、Cursor 中の「ターミナル」で Claude Code を動かすと、右上に * のマークが出て、画面で使えるようになります。Cursor の有料プランは不要です (Claude の有料プランは必要)。

※画面の図は説明用に再現したものです。お使いのパソコンやアプリの版によって、見た目が少し違うことがあります。手順は 2026年10月22日に公式の手順と実物で確認しました。

インストールのリンク (公式)

- Cursor ダウンロード : <https://cursor.com/download>
- Claude Code 公式の入れ方 (PowerShell の1行) : <https://code.claude.com/docs/en/setup>
- 公式 : VS Code・Cursor で Claude Code を使う : <https://code.claude.com/docs/en/vs-code>
- 拡張機能「Claude Code for VS Code」(Open VSX) : <https://open-vsx.org/extension/Anthropic/claude-code>
- Claude の料金プラン : <https://claude.com/pricing>

準備するもの

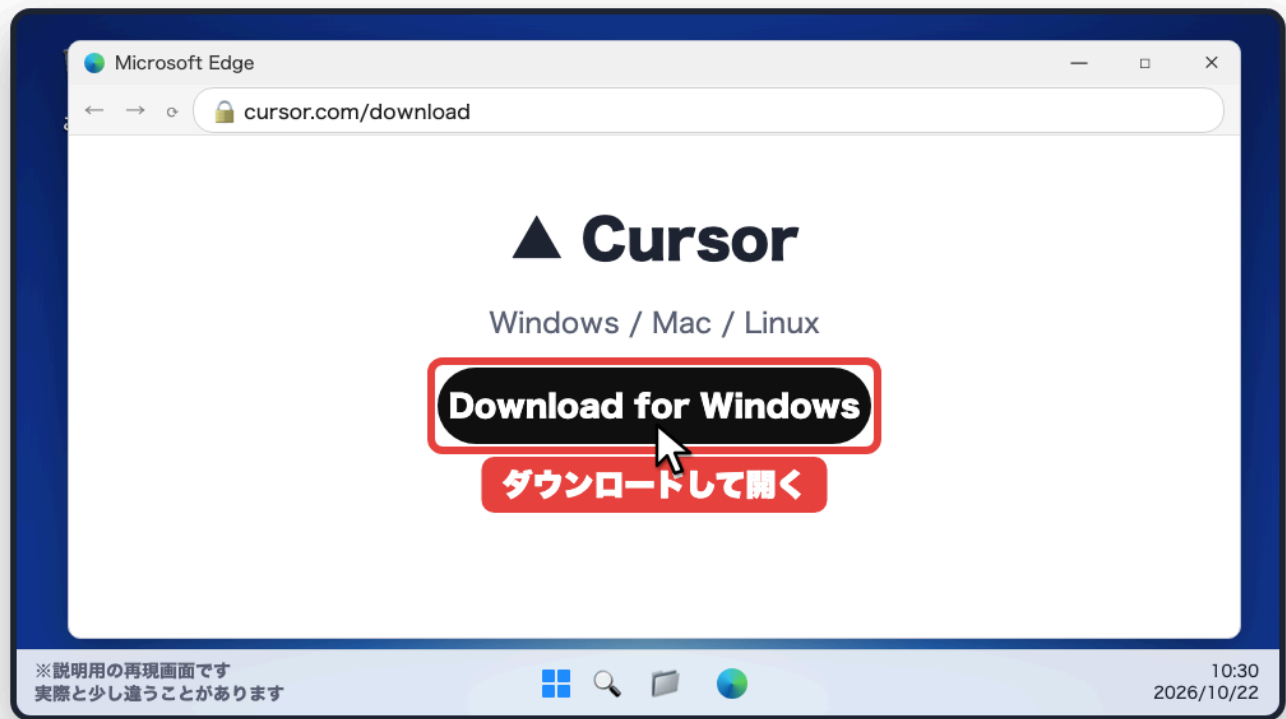
- Windows 10 または 11 のパソコン
- インターネット
- Claudeの**有料プラン** (Proから。無料プランでは Claude Code は使えません)

- 会社のパソコンなら、入れる前に**情シス・総務にひと声**（ソフトを入れられない設定の会社もあります）
- 練習用のフォルダ「AIの練習」（①の手順書の1～2と同じ）
- Cursor 用のアカウント（Google などでも無料で作れます）

手順

1 Cursor をダウンロード

cursor.com/download を開いて「Download for Windows」。



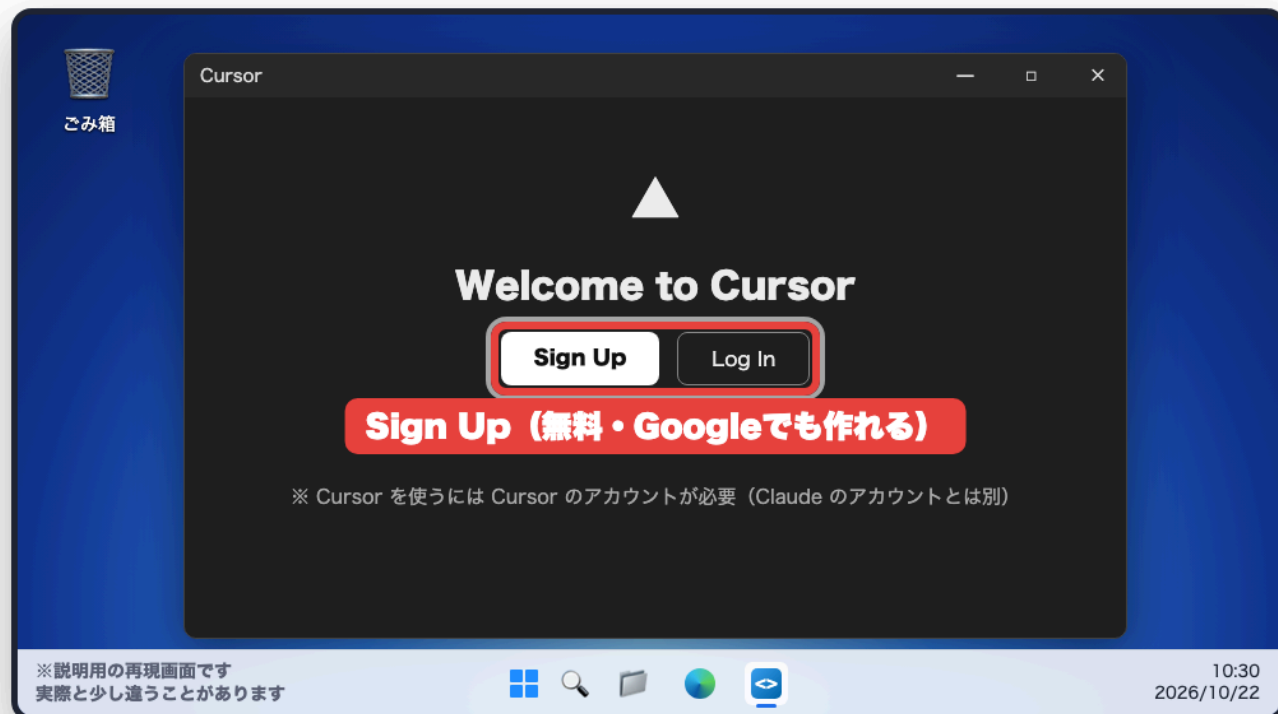
2 インストーラーを進める

ダウンロードしたファイルを開き、何も変えずに「次へ」→最後に「インストール」。少し待つと Cursor が自動で開きます（開かないときは、デスクトップやスタートメニューの Cursor を開く）。

3

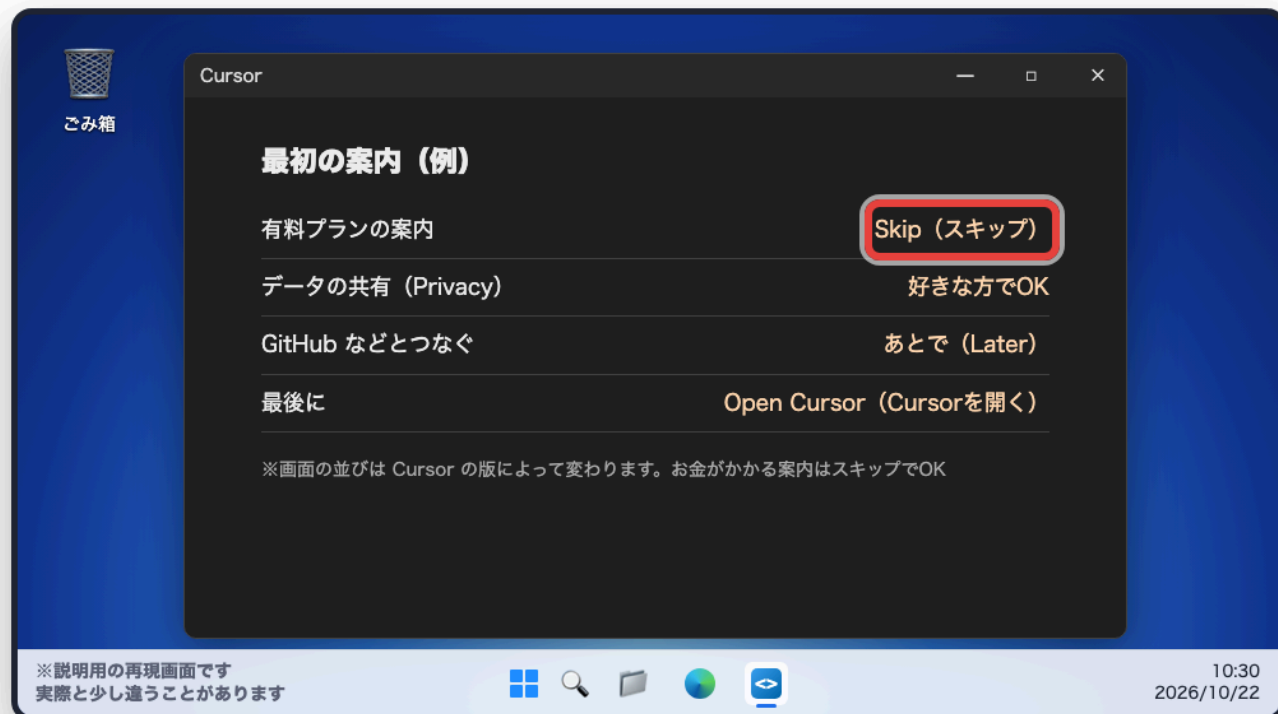
Cursor のアカウントを作る (Sign Up)

Cursor を使うには **Cursor のアカウントが必要です**。「Sign Up」から、Google などで作れます (無料)。Claude のアカウントとは別のものです。



4 最初の案内を進める

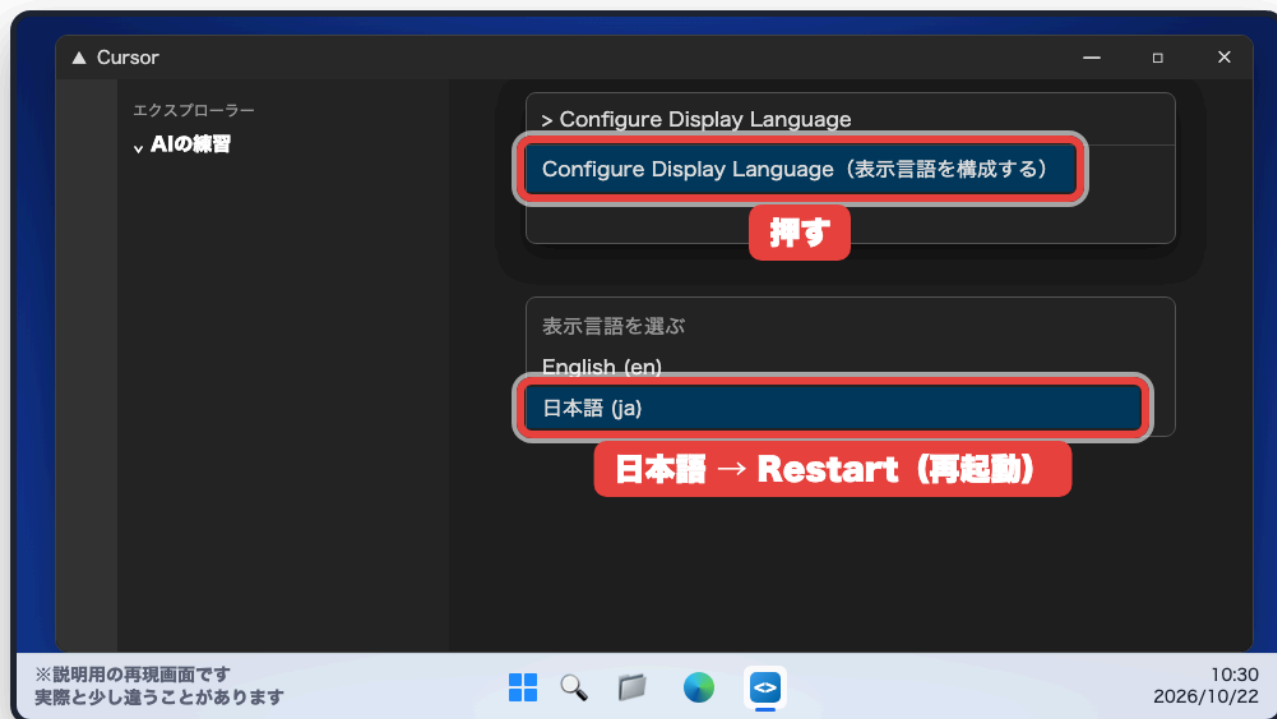
続けていくつか質問が出ます。有料プランの案内は「スキップ」、データの共有は好きな方、GitHub などとつながるのは「あとで」で大丈夫。最後に「Cursor を開く」。



💡 案内の画面や並びは、Cursor の版によって変わります。お金がかかる案内はスキップでOK。

5 日本語にする

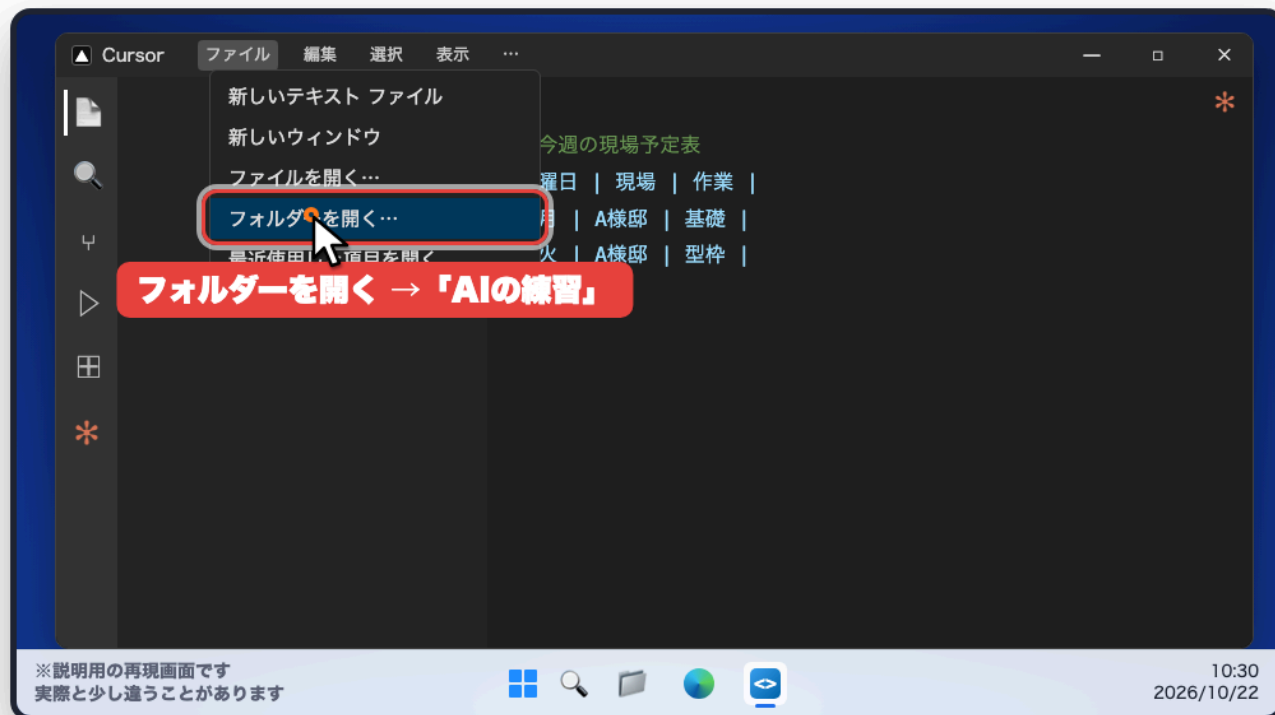
上の「表示 (View)」→「コマンドパレット」(Ctrl+Shift+P) → **Configure Display Language** と入力 → 「日本語 (ja)」 → 「Restart (再起動)」。メニューが日本語になります。



6

「ファイル」 → 「フォルダーを開く」 → 「AIの練習」

練習用のフォルダを開きます。



7

Ctrl+J でターミナルを開く

画面の下にターミナルが開きます。ここは、開いているフォルダ「AIの練習」の場所で動きます。



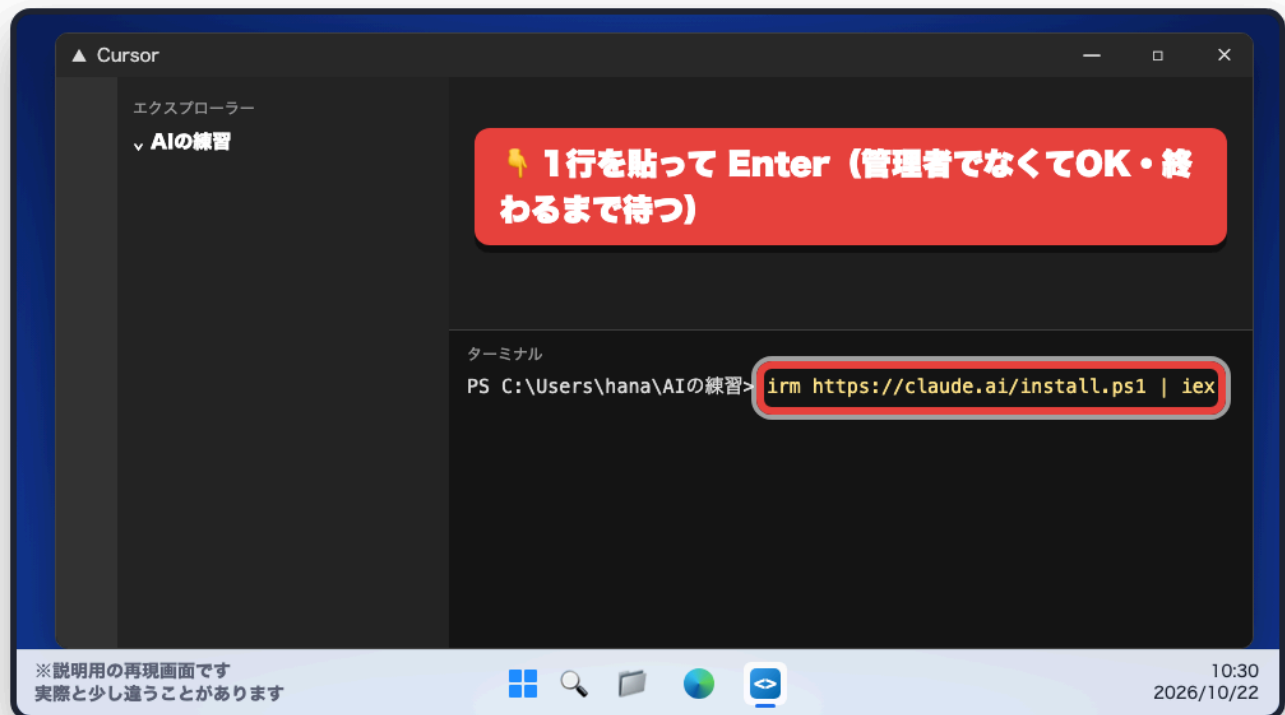
8

Claude Code を入れる（まだの人だけ）

ターミナルに次の1行を貼って Enter。

```
irm https://claude.ai/install.ps1 | iex
```

管理者でなくて大丈夫。何も表示されなくても、終わるまで待ちます。終わったら、ゴミ箱のマークでターミナルを閉じて、もう一度 Ctrl+J で開き直します。

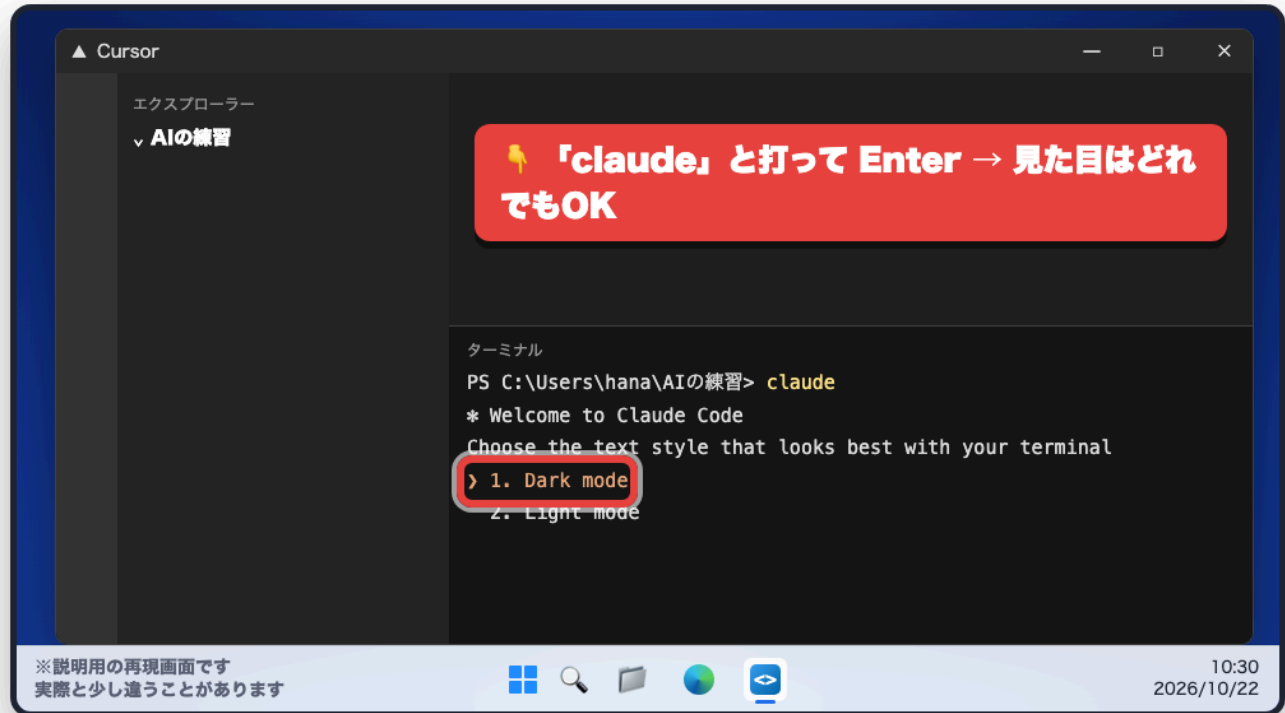


💡 「'irm' は認識されていません」と出たら、ターミナルがコマンドプロンプトになっています。①の手順書の付録のコマンドプロンプト用の1行を使ってください。

9

「claude」と打って Enter

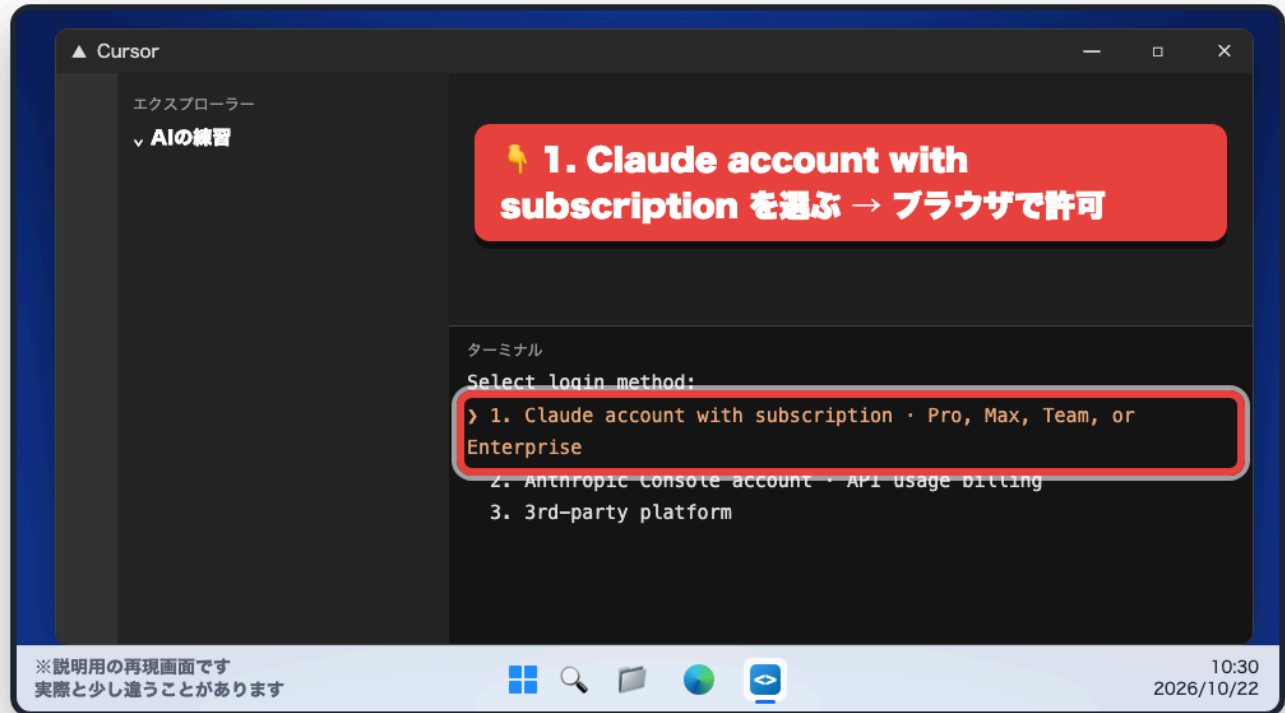
claude と打って Enter。初めては見た目（テーマ）を選ぶ画面が出ます。どれでも大丈夫です（あとで変えられます）。



10

「1. Claude account with subscription」を選ぶ

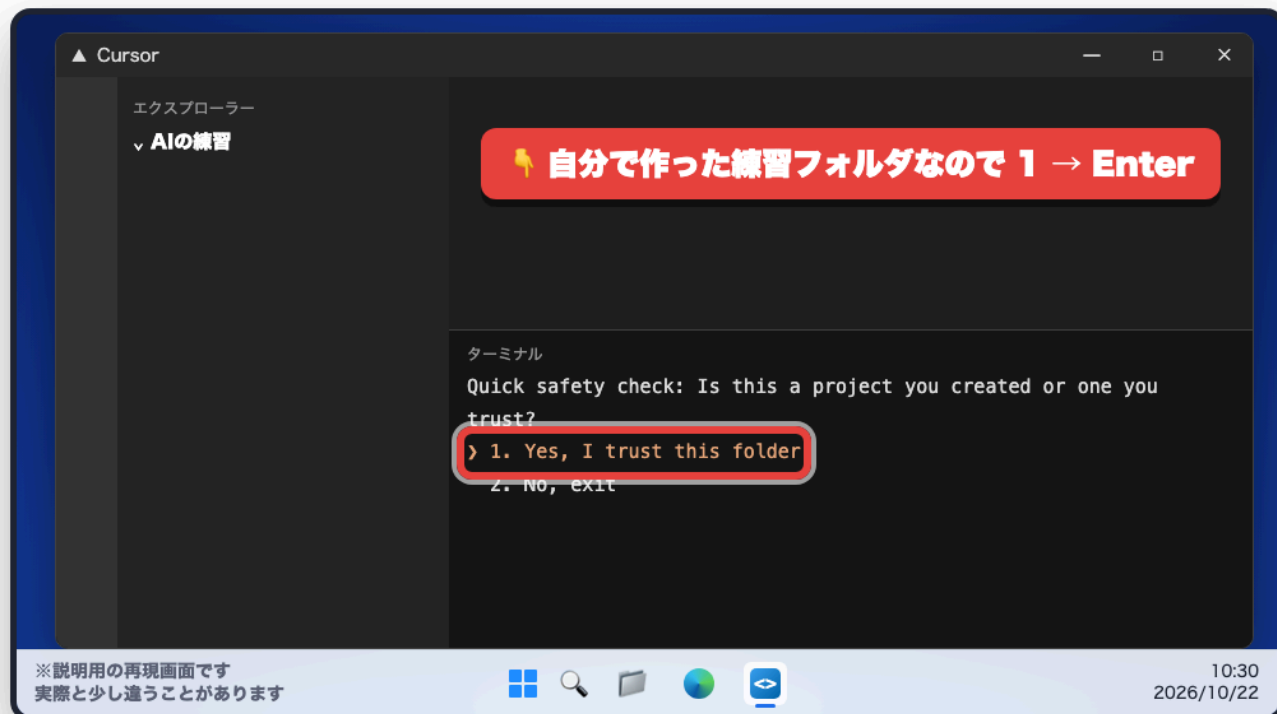
ログインの方法は1番。ブラウザが開くので、Claude の有料プランのアカウントで許可します。戻ると「Login successful」と出ます。



💡 2番の Anthropic Console は、使った分だけ料金がかかる API の契約です。迷ったら1番。

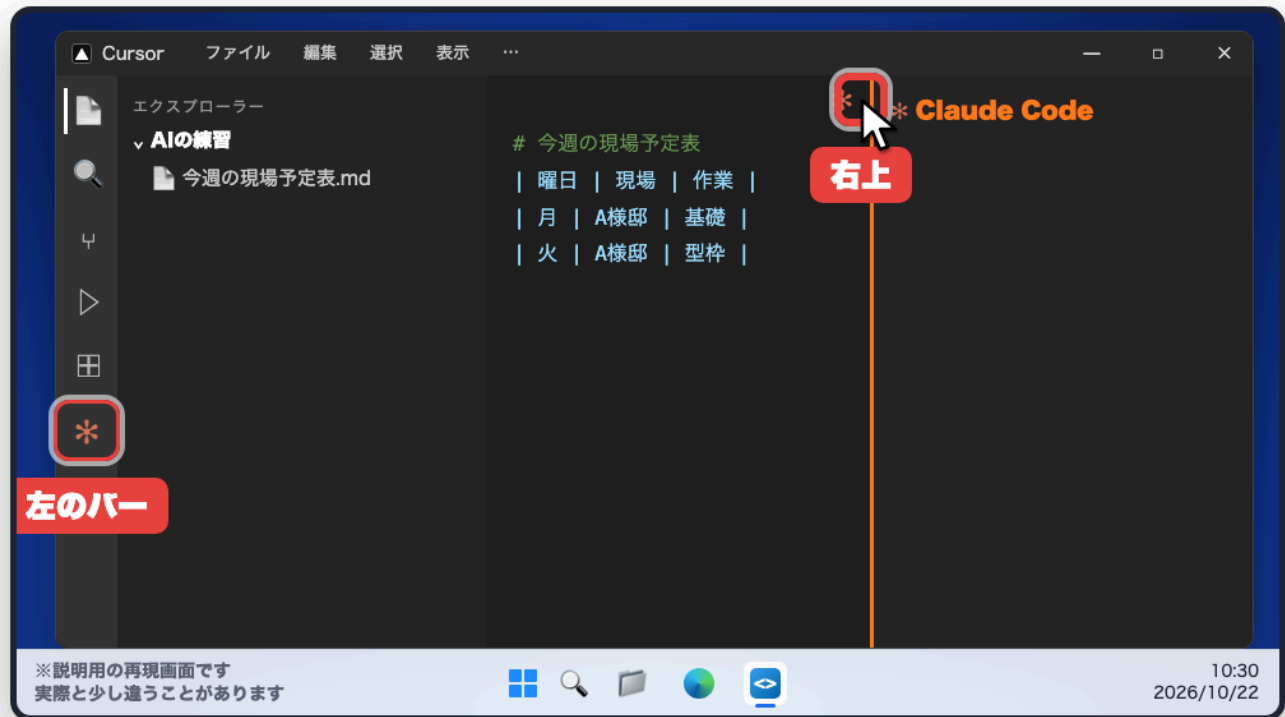
11 フォルダを信頼するか → 「1. Yes, I trust this folder」

自分で作った練習用のフォルダなので、1 を選んで Enter。注意書き（Security notes）や「おすすめの設定」の確認が出たら、Enter・Yes で進めます。



12 右上に * のマークが出る

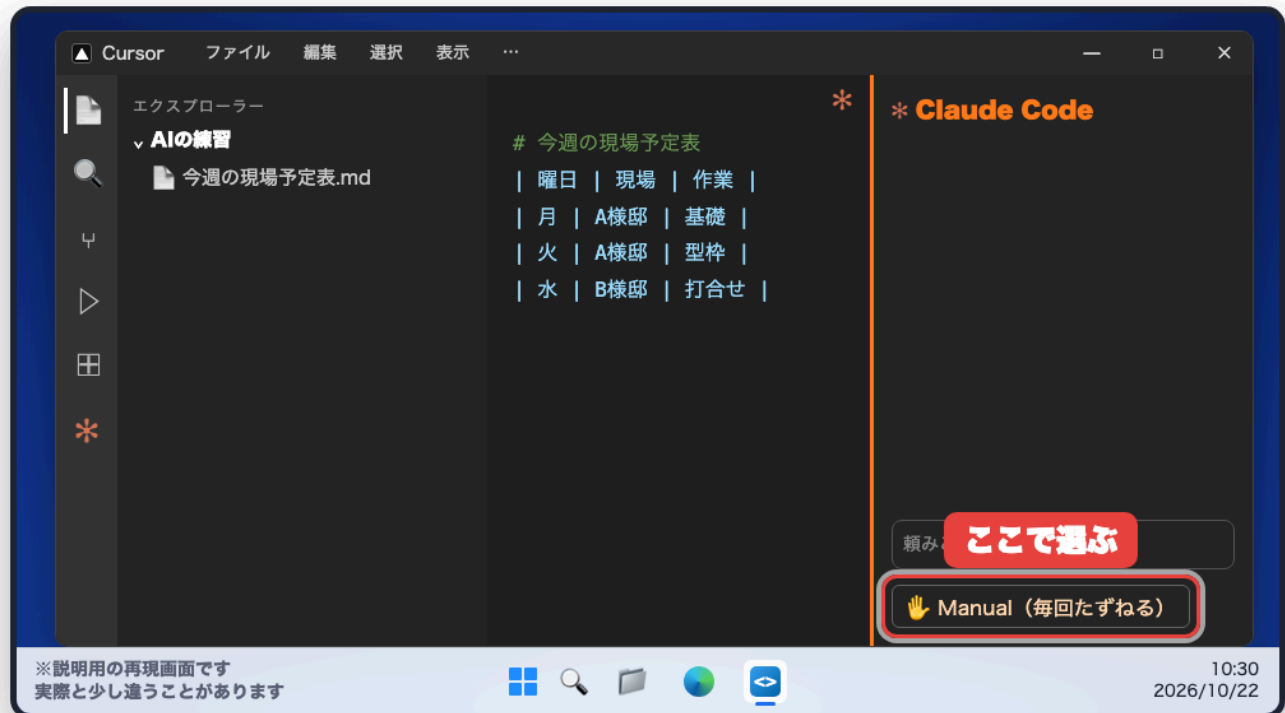
Cursor 中のターミナルで Claude Code を動かすと、Cursor とつながり、**ファイルを開いたときの右上に * のマーク**が出ます。押すと、右側に Claude Code の会話の欄が開きます。ターミナルは閉じて大丈夫です。



💡 出ないときは、Ctrl+Shift+X で「Claude Code」を検索し、作った会社が **Anthropic** ✓ の「Claude Code for VS Code」を Install しても同じです（名前の似た別の会社のものに注意）。

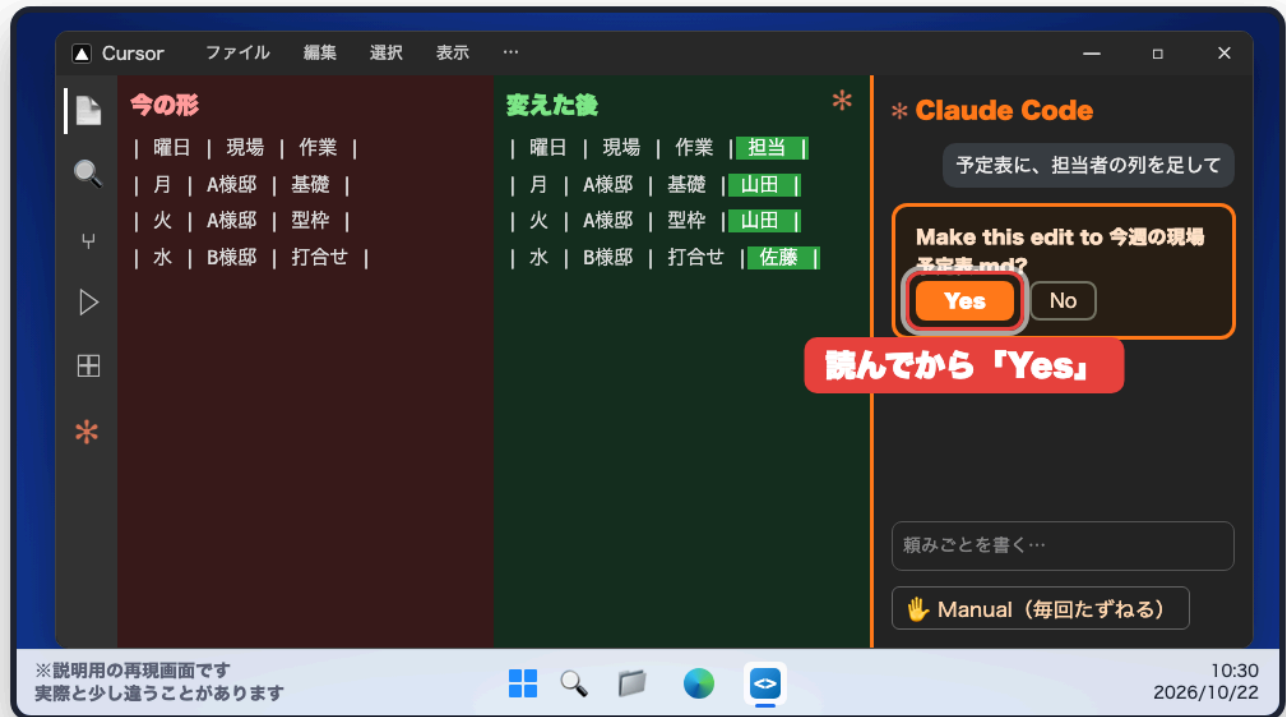
13 最初は「Manual」（毎回たずねる）

会話の欄の下で、動き方を **Manual** にします。ファイルを変える前に、必ず聞いてくれます。



14 読んでから「Yes」

「Make this edit to …?」と聞かれたら、左右で見比べて、よければ **1. Yes**。2番（このあとは聞かずに進める）は、慣れてから。違うときは No を選んで、どうしてほしいかを書きます。



うまくいかないとき

claude と打っても「認識されていません」

ターミナルを閉じて開き直す。それでもだめなら Cursor を再起動します。

* のマークが出ない

ファイルを1つ開いた状態で右上を見ます。出ないときは、手順12の「💡」のとおり拡張機能を入れます。

Cursor 自身の AI と混ざってわかりにくい

Claude Code は * のマークの欄（またはターミナルで claude と打った画面）です。Cursor のチャットとは別のものです。

次の一歩

- 動画で見る：[会社のAI導入講座 #7 「Claude Codeの入れ方 Windows版」](#)
- 入れ終わったらチェック：[入れ方チェックシート（無料）](#)
- ほかの入れ方：[Claude Code の入れ方 ①デスクトップアプリ（Windows）](#)
- ほかの入れ方：[Claude Code の入れ方 ②エディタ VS Code（Windows）](#)
- 会社のパソコンへの入れ方・社内ルールづくりの相談：[無料診断](#)

Claude・Claude Code は Anthropic の製品です。この手順書は Anthropic とは関係のない、個人の解説です。VS Code は Microsoft、Cursor は Anysphere の製品です。自由に社内でお使いください（社外への再配布はご遠慮ください）。